

令和6年度 第3回こんな長崎どがんです会(令和6年12月13日)

テーマ:マニアが集う長崎プロジェクト(アニメ)について

参加者:7人(アニメツーリズム関係者、アニメ事業関係者、アニメファン、学識者、観光事業関係者)

主な意見	対応状況
<p>(本県にアニメファンを呼び込み、リピーターや長崎ファンにつなげるには)</p> <ul style="list-style-type: none">○アニメファンに来てもらいたい場所を明確にすることが大事。○リピーターになってもらうためには、アニメを切り口として、地域の方々との交流につなげたり、食や観光などの長崎ならではの魅力を伝えていくことが必要。○地元の人が自分の町を舞台としたアニメや作品を知ることで、ファンとの交流につながっていく。○地域の盛り上がり様が様々なところへ波及していく事例もあるので、地域の方々を巻き込みながら取組を進めていくことが大事。	<ul style="list-style-type: none">○アニメファンの方たちに、作品の舞台となっている場所へ実際に足を運んでいただくため、市町等と連携して、作品の舞台となった場の磨き上げや、ツアー造成等を検討してまいります。○来県いただいたアニメファンの方たちに、リピーターや長崎のファンになっていただくため、自然や食などの本県の魅力を楽しんでいただけるような仕掛けや、効果的な情報発信等を検討してまいります。○県外の方だけでなく、多くの県民の皆様にも、本県が舞台であるアニメ作品を知っていただけるよう、作品の舞台となっている市町とも連携して、県内向けの情報発信や、大型イベントと連携したアニメの企画展などにも、力を入れてまいります。
<p>(県民がアニメを通じて地域の魅力を再発見し、地域に誇りを持つためには)</p> <ul style="list-style-type: none">○長崎を舞台としたアニメ作品を県民が知ってもらうことが必要。○長崎の祭りとのコラボなど、地元の人やファンも一緒に楽しめるイベント作りができることよいのでは。○単発的なファンとの交流やイベントではなく、継続して実施していくことが重要。	<ul style="list-style-type: none">○アニメファンが継続的に訪れるには、地元市町や民間団体の受入環境の整備が必要であることから、県内市町にアニメツーリズムの成功事例を紹介するなど、アニメを活用した市町等の取組を後押しするとともに、市町と連携して、ファンと県民が交流できる取組やイベントを検討してまいります。